

# 第23回日本リハビリテーション 医学会近畿地方会学術集会および 専門医・認定臨床医生涯教育研修会

日時：2007年9月1日(土)  
会場：甲南女子大学 9号館マルチメディア教室  
〒658-0001 神戸市東灘区森北町6-2-23 TEL 078-413-3583  
会長：阿部 和夫 (甲南女子大学看護リハビリテーション学部理学療法学科)

## ご挨拶

第23回リハ医学会近畿地方会学術集会 会長 阿部 和夫  
甲南女子大学看護リハビリテーション学部理学療法学科 教授



第22回の関西医科大学菅先生に引き続いて、第23回近畿地方会学術集会および専門医・認定臨床医生涯教育研修会を甲南女子大学で開催を致します。

住田会長による第44回日本リハビリテーション医学会学術集会が、盛会のうちに修了して、間もない9月1日に神戸で近畿地方会学術集会を開くことは、一般演題を集める上で無謀に近いことかもしれませんが、学術集会に間に合わなかった演題あるいは第24回近畿地方会学術集会まで待てない演題をお持ちの先生の演題申し込みをお待ちしています。演題を出されない先生も、新しく開設された甲南女子大学看護リハビリテーション

学部を見学するつもりで参加して頂ければ幸いです。

専門医・認定臨床医生涯教育研修会では、私が日頃考えている「認知症のリハビリテーション -現状と問題点-」についてのお話におつきあいください。高次脳機能障害支援普及事業など、高次脳機能障害に対する非薬物的治療および支援には多くのことが提案されていますが、ここで、これまでに考案されてきた認知症のリハビリテーションについて整理する必要があると考えています。もう一つの講演は、私の畏友で、大阪医科大学附属病院神経内科科長の木村文治先生に「神経難病における在宅療法に

向けて」と題して、神経疾患の在宅での治療について費用効率なども含めてお話を頂きます。木村先生は、大学での研究や臨床だけではなく、市中病院の副院長を5年近くつとめた経験から、医療経済にも造詣が深い先生です。昨今の医療改革の中でとすれば、医療経済学的に割が合わないからという理由でなおざりにされる危険のある神経疾患の入院治療、リハビリテーションそして在宅治療などについて、これまでにないお話が聴けるものと期待をしています。

## ●プログラム

- ◆第23回 近畿地方会学術集会 一般演題 13時30分～16時00分
- ◆専門医・認定臨床医生涯教育研修会 16時00分～18時00分
  1. 「認知症のリハビリテーション -現状と問題点-」  
甲南女子大学 看護リハビリテーション学部・教授 阿部和夫 先生
  2. 「神経難病における在宅療法に向けて」  
大阪医科大学附属病院神経内科・科長 木村文治 先生

## ●参加費、研修会認定単位等

- 参加費 1,000円
- 受講料 2,000円(20単位一括)
- 認定単位日本リハ医学会 地方会参加 10単位  
(筆頭演者は更に年度末自己申告により1演題につき10単位)
- 教育講演 20単位

## ●演題募集のご案内

**演題申し込み要領：**演題名、演者名(共同演者名も)

および所属および400字程度の抄録を近畿地方会事務局(jarmkinki@pac.ne.jp)宛に添付ファイル(MicrosoftWord)で送信して下さい。なお演者は日本リハビリテーション医学会会員に限らせて頂きます。

**演題締め切り：**2007年8月1日(水)必着

**備考：**一般演題はすべてパソコン(PC)を使用して行います。PCは学会側で準備します。発表データの形式は、Microsoft Power Point(Windows版)とします。演者は、発表データをCD-RあるいはUSBメモリーに保存してご持参ください。

## 会場へのアクセス

阪急神戸線「芦屋川」駅より徒歩15分、阪急神戸線「岡本」駅より徒歩15分、JR東海道線「甲南山手」より徒歩10分  
(駐車場はありません。徒歩またはタクシーでお願いいたします)



お問い合わせ先  
主催責任者：阿部 和夫  
甲南女子大学看護リハビリテーション学部  
理学療法学科  
TEL: 078-413-3583(直) FAX: 078-413-3742  
E-mail: abeneuro@konan-wu.ac.jp  
abe@neurol.med.osaka-u.ac.jp

または  
嘉手川 淳(市立豊中病院 リハビリテーション科)  
〒560-8565 豊中市柴原町4-14-1  
TEL: 06-6843-0101 FAX: 06-6858-3531  
E-mail: kadekawaj@chp.toyonaka.osaka.jp